

# △ななか 便り ハラスメント

セクハラを筆頭にパワ、テク、カラ、モラ、シエン、アカなどなど何種あるのでしょうか。最も身近なところにも、何百年も前から営々と続いている問題が。嫁と姑の関係。しかし昨今は逆転している様子も見受けられ、老いて老人施設に追い払われないかと。

(名華女)

ハラスメントとは嫌がらせや相手を不快に困らせる事の意味とか。行政トップのセクハラが話題になっていますが呆れ果てるものがあります。最近是不当な差別や嫌がらせに、声をあげ女性が訴える。これは女性の地位向上のためものではないでしょうか。

(Gファン)

セクハラ。この世はオスとメス♀で構成されているんだもの。「誰もが認める正しさの追及」は程々にして、もう少し穏やかにやりましょう。人生は長いようで短いなだからね。

(すみちゃん)

ハラスメントの判断はあくまで受けた本人だ。各自が許容範囲を上げたり、お互いに言葉のキャッチボールができる関係作りが必要ではないかな。立場を考え、品格を保ち、自分を愛するのと同様に相手にも愛を持って接して欲しい。

(じばあ)

**△ハモン博士のまとめ**  
「ハラスメント」という言葉が浸透し、不快な嫌がらせに声を上げることができるようになったことは評価すべきだが、コミュニケーションの問題であり、複雑でデリケートなものじゃ。今や「ハラスメント」と付くものは、40以上の種類があるようじゃ。世の中に双方向のコミュニケーションが存在する以上、ハラスメントがなくなることはないんじゃないだろうな。



**問合せ**

おおぐち男女共同参画懇話会(地域協働部)  
☎95-1691

ハラスメントって自覚はなかったけど、他の人の言葉や行動に一番傷ついたのは子どもの頃だった。結局はイジメ。言葉が豊富になると、拒絶したり、言い返したり、主張できたりする。大人の中でこれだけハラスメントがたくさんあれば、子どもの無自覚なイジメなんてなくならないよなあ…。

(チャーミー)

同じように声をかけられても、容姿の整った男性ならラッキー、容姿に難のある男性ならセクハラ。いやいや、確かに嫌なのかもしれないが、それはそれで容姿を理由にしたハラスメントではないのかい。

(俺)



## Be Ambitious vol.288

町内にお住まいの  
20代の皆さんがリレーで登場!

### 人との会話が好き

船戸 望未さん(さつきヶ丘) H9・12・30生



歴史が大好き!

歴史学科の大学3年生。小学校3年生の時から歴史が大好きで、両親に資料館や城によく連れて行ってもらっていました。中学2年生の時に大口歴史民俗資料館に職場体験に行き、高校1年生から自ら志願して資料館のボランティアとしてひなまつりや端午の節句の企画展のお手伝いをしています。

昨年、歴史民俗資料館のボランティアサポーター「ミューサポ」が立ち上がり、初代メンバーとして活動しています。月に1回の会議で資料館の入館者数を増やすためのアイデアを持ち寄り、インスタで企画展のアピールをしたり、ミューサポのマスコットの「お

おぐちうらん」を考案したりしました。資料館の学芸員さんは、堅い職業とは裏腹にとっても気さくで楽しい方。町内の皆さんだけでなく姉妹都市の松江の方からも好かれ、姉妹都市の架け橋となっておられます。自分も将来あのような学芸員になれたらいいなと思います。

将来は大口町で

町内でアパレル店員のアルバイトをしています。地元のお客さんが来てくれるので、会話できるのがとても楽しいです。アットホームで地域が仲良く協力する風土がある大口町が大好きです。将来は地域の人と関わって地元に貢献できるような仕事をしたいと思っています。



▲歴史民俗資料館にて。撮影スポットとしておすすめの場所です。